

平成29年 6月 4日

神奈川県議会議員

近 藤 大 輔 殿

NPO法人 葉山ヨットクラブ
理事長 日原 行隆



東京2020オリンピック・セーリング競技江の島開催に伴う
葉山港の整備に対する

要 望 書

日頃よりNPO法人 葉山ヨットクラブ の活動に御理解とご協力をいただき、改めてお礼を申し上げます。

昨年度から担当部局の方々による「東京2020オリンピック・セーリング競技の江の島開催に伴う神奈川県としての方針」につきましては、葉山ヨットクラブメンバーに対しても情報を共有させて頂いております。

2020東京オリンピック後を見据えた、県が掲げる「江の島（湘南港）と葉山港を中心としてセーリング文化を広げる」という方針に対し、葉山ヨットクラブとしても積極的に協力をさせていただきたいと考えております。

また、江の島開催に伴う葉山港へのディンギー仮置きという神奈川県の方針につきましても、全面的な協力をする所存です。

これらにつきましては、関係部局からのご説明を頂いて参りましたが、予算処置について明確な回答が得られないままであります。

先日、費用負担の問題がある程度解決したという報道もあり、県としても具体的な方策の検討に漸く着手できる状況となった事と思っております。

事前の大会を含めた葉山港のディンギーの受け入れ案については、当クラブのメンバーからも、多くの意見が寄せられております。

これまでの、県側の御説明を踏まえ、メンバーからの意見を集約いたしました。

年間を通じて葉山港を中心に活動をして、港や海の状況を把握している施設利用者からの意見として参考にして頂き、具体的な事業に反映して頂けますよう、宜しく願い申し上げます。

1. 要 望

(1) 緑地広場に新たに整備するディングー置き場について

緑地広場に新たに整備するディングー置き場は、恒久施設でなく仮設を前提として検討して戴きたい

その理由として、以下のような意見があります。

- ① 計画されている緑地は、越波による影響が大きく、恒久的なディングー置き場として適さない。
- ② オリンピック後のディングー保管施設の需要の見込みが、明確にされていない。整備後に、使われない施設になる恐れがある。
- ③ 緑地は、葉山港を構成する施設として、重要な空間となっている。
- ④ 神奈川県の方針として、葉山港の整備は、H.6 策定の「葉山港再整備計画」に基づき現在も進めており、オリンピックは必要最小限の施設整備にとどめたいということであるが、現状でも週末の朝夕は、出入港の利用船で、スロープとその前面から港口周辺水域が混雑する。

恒久施設としてディングー置き場を増設整備し、収容隻数が増えた場合、ますます混雑が予想される。

収容隻数だけを増やすことは、スロープや水域不足の問題となることは明白であり、港の利用性の低下だけでなく安全面の問題も起こりうる。

設備増設設置場所は、出艇の際、スロープまでのディングー運搬距離が長く、ヤード内の他の艇への接触事故や作業中の利用者への接触事故の元と為りかねない。

従ってディングー置き場だけを整備するのであれば、オリンピック後は、緑地に容易に戻せるような仮設施設として整備することを望みます。

(2) 駐車場他の整備について

- ① 駐車場の立体化について、現状でも週末の朝市の開催日や、ヨットレースの大会が開催された時には、駐車待ちの列が出来、駐車スペース不足が顕在化している。

従って、駐車スペースの拡大は、恒久施設として検討願いたい。

- ② 駐車場の立体化にあたっては、周辺環境や景観、既存施設からの眺望にも十分に配慮したものとして頂きたい。

- ③ 駐車場は塩害の影響が大きいことを踏まえた構造として欲しい。

施設の完成後数年で、発錆や錆染の発生で見栄えが悪くならないよう、事前に十分検討して戴きたい。

- ④ 駐車場と同時に、現状でも問題が顕在化しているトイレの数および給水能力不足の解消をお願いしたい。

2. 提案

オリンピック及び準備期間中のディングー置き場を仮施設とした場合、計画に自由度が増すと思います。

例えば、本港外側の防波堤背後（写真・赤色部分）に、仮設栈橋を鋼製で設置してその上部を3年間ディングー置き場とすることも可能である。この場所は、緑地に比べ、越波による影響が少ないところである。近年の高潮に対する対策は、栈橋の高さを用地より高くすることで、解決できます。又、鋼製栈橋構造であれば、オリンピック終了後に容易に撤去可能です。

さらに仮施設であれば、神奈川県費用負担が軽減されることにもなるのではないかと考えられます。



仮設鋼製栈橋によるディングー置き場・赤色囲み部分（案）

3. その他の要望、

- ① 新港のスロープのコンクリート版が一箇所浮いてずれており、段差があり危険な状態となっています。その部分は水中なので目に付かない為、段差があることを知らない外来者による船の上下架の際、足を取られる、または船が落ち込む等の事故が起きる可能性もあります。

注意喚起処置と共に、早急な復旧をお願い致します。

- ② これまでも何度か要望しております新港側の電源供給について、本港同様の利用ができるようパワーポスの設置について、早急に整備して戴けますようお願い致します。

③ これまでも何度か要望しております新港側の浮き栈橋係留杭の延長について、近年の高潮による海面上昇の実態を葉山港で間直に見ている利用者にとって、切羽詰った状況です。

高潮と同時に発生する波浪により、ポンツーンが杭から抜けそうな状況も何度か目撃しております。

新港のポンツーンにつきましては、老朽化による構造的な問題も顕在化しており順次更新をする計画となっているようですが、同時に、海面上昇に伴う杭の長さ不足に対しても、早急な対応をお願い致します。

以上